

宮崎県気候変動適応センター通信 第14号

6月・7月の天候を振り返ってみると・・・

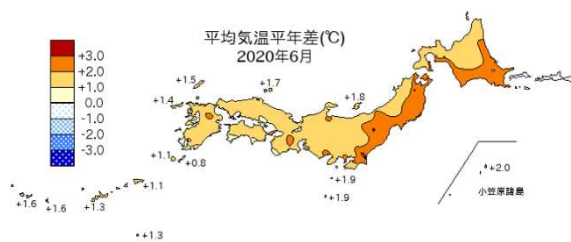
8月下旬になりましたが、まだまだ暑い日が続いています。今年の夏の天候には、どのような特徴があるのでしょうか。6月、7月の天候を振り返ってみます。

6月の天候

- ・気温は全国的にかなり高くなった
- ・降水量は沖縄・奄美でかなり多くなった

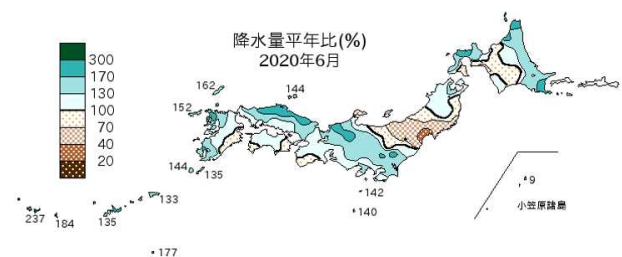
《気温》

- ・月平均気温は全国的にかなり高くなり、東日本では、1946年の統計開始以来6月として1位の高温となった。
- ・西日本では、2005年と並び最も高温となった。



《降水量》

- ・梅雨前線の活動が活発となった時期があったため、沖縄・奄美でかなり多く、北日本日本海側と東日本太平洋側、西日本で多くなった。



7月の天候

- ・「令和2年7月豪雨」が発生
- ・気温は西日本でかなり低く、東日本で低くなった

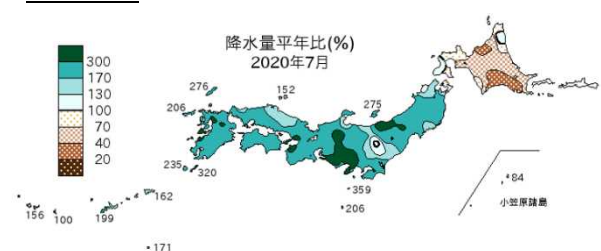
《気温》

- ・曇りや雨の日が多く、月平均気温は西日本でかなり低く、東日本で低くなった。



《降水量》

- ・活発な梅雨前線の影響で、東・西日本を中心に各地で大雨となった（「令和2年7月豪雨」）。東日本太平洋側、西日本日本海側、西日本太平洋側では、7月として1946年の統計開始以来第1位の多雨となった。



〈出典〉気象庁 HP 「6月の天候」 <https://www.jma.go.jp/jma/press/2007/01a/tenko2006.html>
気象庁 HP 「7月の天候」 <https://www.jma.go.jp/jma/press/2008/03a/tenko2007.html>

宮崎県気候変動適応センター

事務局：宮崎県環境森林部環境森林課 電話：0985-26-7084 E-mail:kankyoshinrin@pref.miyazaki.lg.jp